

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり		
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり			
(施策の小項目)	○景観資源を活かした農地・農村の整備			
主な取組	村づくり交付金	実施計画 記載頁	70	
対応する 主な課題	○各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	農業生産基盤の整備と農村生活環境の整備を総合的に実施することで、持続的な農業の展開を図るとともに、地域の想像力を生かした個性的で魅力ある村づくりを推進し、もって沖縄らしい風景作りに寄与する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	兼城地区 他				→	→	県 市町村
	自然環境・生態系保全施設の整備						
担当部課	農林水産部農地農村整備課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
村づくり交付金事業費	575,487 (145,486)	498,014 (145,486)	兼城地区(糸満市)他7地区において、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設等の整備に対する補助を行った。	一括交付金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
自然環境・生態系保全施設の整備地区数			—	8地区
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	兼城地区(糸満市)他7地区において、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設等が整備されたことにより、農業・農村がもつ多面的機能が発揮され、農業生産基盤と農村生活環境の改善・向上が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
農村集落基盤再編・整備事業	309,488 (77,473)	兼城地区(糸満市)他5地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行う。	一括交付金 (ハード)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①円滑な事業執行に向けて、担当者とのヒアリングを定期的に行う等、地元市町村等関係機関と連携するとともに、事前に受益農家等との調整を行い、工事予定箇所の早期確定を行う。	①関係市町村とのヒアリングを年3回実施することにより執行状況や課題等の把握を行った結果、当該年度及び次年度予定箇所の円滑な事業執行のために支援、指導することができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
事業実施地区数	14地区 (26年)	14地区 (27年)	8地区 (28年)	→	—
状況説明	平成28年度では3地区が完了し、農業生産基盤とともに自然環境・生態系保全施設が整備されており、農業・農村がもつ多面的機能が発揮され、農業生産基盤と農村生活環境の改善・向上が図られた。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業推進のため、工事实施予定箇所の課題(作物の作付けまたは収穫時期の調整、用地買収に係る権利関係の確認等)の事前整理を行う必要がある。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度施工箇所に係る調整(受益農家との作付け又は収穫時期、用地買収に係る権利関係の確認等)が必要になる。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地元市町村、関係課との連携を強化し、円滑な事業執行のため、受益農家との最終調整や権利関係の確認を行い、工事予定箇所を速やかに確定する必要がある。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業執行に向けて、担当者とのヒアリングを定期的に行う等、地元市町村等関係機関と連携するとともに、事前に受益農家等との調整を行い、工事予定箇所の早期確定を行う。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり
施策	①良好な景観創出のための仕組みづくり	
(施策の小項目)	○景観資源を活かした農地・農村の整備	
主な取組	団体営中山間地域総合整備事業	実施計画 記載頁 70
対応する 主な課題	○各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	農業の生産条件等が不利な中山間地域の実情を踏まえ、中山間地域の活性化に意欲のある地域を対象として、それぞれの地域の立地条件に沿った農業・農村の展開方向を探り、農業生産基盤の整備を効率的に行う。 また、農村生活環境等の整備を併せて総合的に行うことにより、農業・農村の活性化を図り、地域における定住の促進、都市との共通社会基盤の形成及び国土・環境の保全等に寄与する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	西表西部 地区他				→	→	県 市町村
	生態系保全施設の整備						
担当部課	農林水産部農地農村整備課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
—	—	—	平成27年度までに全対象地区の整備は完了しており、今年度は達成状況の検証や管理を行った。	—
活動指標名			計画値	実績値
生態系保全施設の整備地区数			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	平成27年度までに事業対象地区については、整備は完了している。事業実施要綱に基づき事業計画目標の達成状況報告を事業完了年度から5年度後に行うよう定められており、平成28年度については該当地区が無かったが事業実施地区の管理を行った。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
農村集落基盤再編・整備事業	309,488 (77,473)	兼城地区(糸満市)他5地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行う。	一括交付金 (ハード)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度 of 取組改善案	反映状況
①本事業は、これまで市町村要望に対して整備を行い要望を満たしている状況である。これまで実施してきた地区の事業計画で設定された目標について、達成状況を検証するためにも達成状況報告書を提出してもらうとともに、地元市町村等関係機関と連携し、事業完了地区の状況を管理する。	①平成27年度までに全対象地区の整備が完了している。事業計画目標の達成状況報告については、事業実施要綱に基づき、事業完了年度から5年度後と定められており、平成28年度については該当地区が無かったが事業完了地区の管理を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
事業実施地区数	4地区 (25年度)	3地区 (26年度)	1地区 (27年度)	→	—
状況説明	平成27年度までに全対象地区の整備が完了している。事業計画目標の達成状況報告については、事業実施要綱に基づき、事業完了年度から5年度後と定められており、平成28年度については該当地区が無かったが事業完了地区の管理を行った。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業完了地区の事業計画目標の検証については、事業実施要綱に定められており、達成状況の検証や管理を継続する必要がある。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は平成29年度より国の制度変更に伴い、県も制度見直しを行い他事業と統合予定である。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、平成29年度より国の制度変更に伴い、県も制度見直しを行い、他事業と統合する予定である。統合後も円滑な事業執行のため、地元市町村、関係機関と連携し、受益農家との最終調整や権利関係の確認を行い、工事予定箇所を速やかに確定する必要がある。また、これまでの事業完了地区についても引き続き、達成状況の検証や管理を継続する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、平成29年度より国の制度変更に伴い、県も制度見直しを行い、他事業と統合する予定である。統合後も円滑な事業執行に向けて、担当者とのヒアリングを定期的を開催する等、地元市町村等関係機関と連携するとともに、事前に受益農家等との調整を行い、工事予定箇所の早期確定を行う。また、これまでの事業完了地区についても引き続き、達成状況の検証や管理に取り組む。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成		
施策	②都市、道路、郊外及び農山村の緑化			
(施策の小項目)	○郊外及び農山村等の緑化			
主な取組	県民の森管理事業	実施計画 記載頁	73	
対応する 主な課題	○郊外部では、良好な自然環境、営農環境と調和を図りながら集落景観の保全など魅力的な田園農住地域の整備を行う必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	森林・林業の役割について自然とのふれあいを通して普及啓発を図るとともに、森林レクリエーションの場を通して次代を担う青少年の健全な育成と県民の健康増進を図るため、県民の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	県民の森の施設整備、維持管理、利用促進					→	県
担当部課	農林水産部 森林管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
県民の森管理事業費	4,947	4,570	県民の森公園内の緑化活動(クメノサクラ、ハナミズキの育樹等)及び利用拡大を目的にイベント(山の日イベント)を実施するとともに、施設の適切な管理を行った。加えて、指定管理者による自主事業(どんぐりのクラフト教室、アウトドア・キャンプイベント等)を行った。 また、県民の森の課題を整理し今後の利活用について検討することを目的に、沖縄県県民の森の新たな利活用に向けた検討業務を実施した。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	緑化活動(クメノサクラ、ハナミズキの育樹等)やイベント(山の日イベント)の実施、指定管理者による自主事業(どんぐりのクラフト教室、アウトドア・キャンプイベント等)により、新しい客層の増加に繋がった。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
県民の森管理事業費	3,809	県民の森公園内の緑化活動(クメノサクラの育樹等)及び施設の適切な管理を行うとともに、指定管理者による自主事業(炭窯体験等)を定期的実施する。 また、老朽化した施設の対応策を検討するため、長寿命化計画の一部策定業務を実施する予定である。	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①引き続き、緑化活動やイベントの実施等による利用者数の増加を図るとともに、指定管理者の自主事業を充実させる。	①緑化活動やイベントを実施するとともに、指定管理者の自主事業として新規イベントや次年度実施予定の炭窯体験に向け炭窯製作を行った。
②アンケート等を強化し利用者のニーズを的確に把握した上で、老朽化した施設のリニューアルに向けた基本構想に係る検討を行う。	②県民の森の課題を整理し今後の利活用について検討することを目的に、沖縄県県民の森の新たな利活用に向けた検討業務を実施した。
③外国人観光客の利用増加に伴い、多言語案内板等を設置する。	③優先度の高かった定刻で放送する園内アナウンスについて、英語及び中国語版を追加した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県民の森公園の利用者数	174,814人 (26年度)	200,557人 (27年度)	171,460人 (28年度)	↗	—
状況説明	県民の森公園の利用促進のための緑化活動、イベントの実施、指定管理者による自主事業を実施することにより利用者が増加傾向にある。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p><u>○内部要因</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全を確保するため、老朽化した施設の改修等について検討する必要がある。
<p><u>○外部環境の変化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のリニューアルに向け、地域の自治体や住民と基本構想に係る検討を行う必要がある。 ・外国人観光客の利用が増加しており、多言語案内板等の設置が必要である。 ・県民・団体等が森林レクリエーション活動の場として県民の森を利用することが増えており、指定管理者が利用する県民・団体等を支援・指導し、適正な運用を担保することが求められる。

様式1(主な取組)

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・老朽化した施設の対応策を検討するため、長寿命化計画策定業務等を実施する必要がある。
- ・外国人観光客のニーズに対応するため、多言語案内板等を設置する必要がある。
- ・県民の森の利用促進のため、指定管理者の自主事業の一環である、県民・団体等の森林レクリエーション活動を支援・指導する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・老朽化した施設の対応策を検討するため、長寿命化計画の一部策定業務を実施する。
- ・外国人観光客のニーズに対応するため、多言語案内板等を設置する。
- ・県民の森の利用を促進するため、指定管理者の自主事業の一環である、森林レクリエーション活動を支援・指導する。